

男性の膵 SPN(Solid Pseudopapillary Neoplasm)の画像診断学的特徴 に関する多施設共同研究

1. はじめに

神戸大学医学部附属病院放射線診断・IVR 科および共同研究機関(NTT 東日本関東病院、東京大学医学部附属病院、倉敷中央病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、信州大学医学部附属病院、香川大学医学部附属病院)では、2003 年 1 月 1 日～2024 年 9 月 30 日のあいだに膵臓の SPN(Solid Pseudopapillary Neoplasm; 膵腫瘍の 1 種)と診断された方で CT・MRI・PET 検査を受け、後に手術を受けられた 6 歳以上の患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

2. 研究概要および利用目的

神戸大学医学部附属病院放射線診断・IVR 科では、さまざまな患者さんに対して画像検査(CT・MRI・PET)を行っています。その中でも今回は画像検査後に生検や手術を受けられ、病理学的に膵 SPN と診断された方を対象に研究を行っています。

これまでの報告から、膵 SPN は特に若年女性に多く発症する腫瘍であるということが分かっています。当院では膵腫瘍をはじめとした膵臓疾患に対して多くの画像検査および手術を行っており、稀と言われている男性の膵 SPN の症例も約 13 年間で 8 例経験しています。男性の SPN に関してその画像的特徴を比較検討した報告は非常に少なく、今回多施設共同研究として多数の症例での研究を計画しました。

女性症例と対比し男性症例の膵 SPN の特徴が分かれば、男性症例において術前診断の検査精度の向上が期待されるほか、術式の決定にも寄与するものと思われます。

3. 研究期間

この研究は、研究機関の長による研究実施許可日から 2026 年 3 月 31 日まで行う予定です。

4. 研究に用いる情報の項目

- ① 術前に撮像された CT・MRI・PET 画像のデジタルデータ
- ② 造影 CT で用いた造影剤の投与量、PET 撮影時に用いた FDG の投与量
- ③ 術前の画像診断レポート
- ④ 患者基本情報:年齢、性別、臨床診断名、病歴、合併疾患の有無、術後再発の有無、術後再発までの期間
- ⑤ 術前の血液検査(WBC, AST, ALT, γ -GTP, ALP, T-bil, AMY,CRP, 各種腫瘍マーカー)
- ⑥ 術後または生検後の病理組織学的検査の所見および診断名
- ⑦ 術後または生検後の病理組織標本画像のデジタルデータ
- ⑧ 診療記録 (病変が見つかった契機やその後の転帰を調べるため)

既存情報の利用を開始する予定日

研究機関の長による研究実施許可日から行う予定です。

5. 研究機関

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。

代表研究機関

神戸大学医学部附属病院放射線診断・IVR 科 (研究代表者:祖父江 慶太郎、機関長の氏名:真庭 謙昌)

共同研究機関

NTT 東日本関東病院(研究責任者:日下部 将史、機関長の氏名:大江 隆史)

東京大学医学部附属病院(研究責任者:阿部 修、機関長の氏名:阿部 修)

倉敷中央病院(研究責任者:小山 貴、機関長の氏名:小山 貴)

順天堂大学大学院医学研究科放射線診断学講座(研究責任者:佐野 勝廣、機関長の氏名:桑鶴 良平)

信州大学医学部画像医学教室 (研究責任者:吉澤 恵理子、機関長の氏名:藤永 康成)

香川大学医学部放射線医学講座 (研究責任者:田中 賢一、機関長の氏名:西山 佳宏)

6. 外部への情報の提供・取得の方法

カルテより 4 項に記載した項目を、メールにて代表研究機関である神戸大学医学部附属病院へ提供します。CT や MRI などの画像データは CD-R や DVD に保存して郵送にて提供します。

7. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科内科系講座放射線医学分野の鍵のかかる保管庫に保管します。

8. 情報の保存・管理責任者

この研究の保存・管理する責任者は以下のとおりです。

NTT 東日本関東病院 放射線科 研究責任者:日下部 将史

9. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータ若しくは残余検体をご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

10. 研究終了後のデータの取り扱いについて

患者さんよりご提供いただきました試料や情報は、研究期間中は神戸大学大学院医学研究科内科系講座放射線医学分野/神戸大学医学部附属病院 放射線診断・IVR 科において厳重に保管いたします。ご提供いただいた試料や情報が今後の医学の発展に伴って、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があり、将来そのような研究に使用することがあるため、研究終了後も引き続き神戸大学大学院医学研究科内科系講座放射線医学分野/神戸大学医学部附属病院放射線診断・IVR 科で厳重に保管させていただきます。(保管期間は最長で 10 年間です。)

ただし、患者さんおよび保護者が本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄(データの削除、印刷物はシュレッダー等で処理)いたします。

11. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

12. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めを希望されたとき、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、取り止めを希望されたときにすでにデータがコード化されていたり、研究成果が論文などで公表されていたりする場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合もあります。

13. 研究に関する利益相反について

本研究の研究者はこの研究に関連して開示すべき利益相反(COI ※)関係になる企業などはございません。
※研究における、利益相反(COI(シーオーアイ): Conflict of Interest)とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれに当たります。このような経済的活動が、臨床試験の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させる可能性を判断する必要があり、そのために利害関係を管理することが定められています。

14. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかを患者本人や保護者がお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を患者本人や保護者が望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

NTT東日本関東病院 放射線科

〒141-8625 東京都品川区東五反田 5-9-22

担当者名: 日下部将史

電話: 03-3448-6111(代表)